



石巻市

国の復興予算縮小を理由に 今年度限りでの捜索打ち切り決める

tbc

東日本大震災で行方不明となっている宮城県石巻市立大川小学校の児童らの発見に協力してもらおうと、17日に石巻市長が県漁協を訪ね、要請書を手渡しました。

17日に宮城県石巻市の斎藤正美市長が県漁協を訪れ、行方不明者の発見に協力を求める要請書を、寺沢春彦組合長に手渡しました。石巻市は、警察の捜索とは別に2017年度から、震災の津波により大川小の周辺で行方が分からなくなっている児童4人の捜索を続けてきました。しかし、捜索費用に充ててきた国の復興予算が縮小されたことを理由に、2021年度限りで、捜索を打ち切ることを決めました。

要請を受けた県漁協は、「海や川での仕事で行方不明者の手がかりを見つけた際には、警察に連絡するなどして協力する」と応えました。一方、大川小遺族会は、石巻市に対し「遺族に寄り添った対応とはいえない」などとして、捜索の打ち切りを見直すよう求めています。

2022.2.18 東北放送